

1 題材名 3けたの数の計算を考えよう「たし算とひき算の筆算」

2 本時の学習指導 (5/10) 3つの達成目標との関連 (※)

(1) 本時の目標

- 3位数-3位数の筆算のしかたを理解し、その計算をすることができる。

(2) 評価の基準

- ・ 3位数-3位数の筆算のしかたを既習の筆算をもとに考えようとしている。
(関心・意欲・態度)
- ◎ 3位数の加法や2位数どうしの減法の筆算の原理・手順をもとに、3位数の減法の筆算のしかたを考えている。
(数学的な考え方)
- ・ 筆算形式による3位数の減法計算ができる。
(表現・処理)
- ・ 3位数-3位数の筆算のしかたを理解している。
(知識・理解)

(3) 本時の展開 (具体的な手立て ★十分満足に高める手立て ☆おおむね満足に高める手立て)

	学習活動	指導上の留意点	観点別学習状況の評価 (□) と具体的な手だて (★☆)	時間資料																													
つかむ	1 既習の減法計算を振り返る。 2 問題を知る。	・ 2位数-2位数の筆算問題を計算させ、手順を確認する。※ ・ <u>百玉そろばんで数感覚を身につける練習をする。</u>	☆①位をそろえて書くこと。②一の位から順に計算すること。③繰り下がりを忘れないこと。を教え確認する。	10分																													
	問： 牛にゆうパックを、先月は194こ、今月は315こ集めました。今月は、先月より何こ多く集めましたか。																																
	(1) 立式をする。 (2) 見通しをもつ。	・ 既知事項と求答事項を確認し、立式させる。 ・ 既習の減法との違いを知る。 ・ およその見当をつける。	関問題文の題意をとらえようとしている。(行動観察)																														
考える	3 本時の学習課題を知り、解決する。 課： 315-194の計算のしかたを考えよう。 (1) 自力解決をする。 予想される児童の反応 ① カードを使って考える <table border="1" data-bbox="236 1496 911 1861"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">百</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">十</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">一</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">100</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">100</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">100</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">10</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">100</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">10</td></tr> </table> </td> <td style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table> </td> </tr> </table>	百	十	一	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">100</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">100</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">100</td></tr> </table>	100	100	100	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">10</td></tr> </table>	10	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table>	1	1	1	1	1	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">100</td></tr> </table>	100	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">10</td></tr> </table>	10	10	10	10	10	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table>	1	1	1	1	1		考 2位数の減法の筆算の原理・手順をもとに3位数の減法の筆算のしかたを考えている。(行動観察・ノート) ☆絵や図、式を使って考えさせる。 ☆位取り表、数カードを活用する。 関 3位数-3位数の計算のしかたを既習の計算をもとに考えようとしている。 ☆解決が難しそうな児童には、考え方のモデルを提示する。 ☆問題を解く手がかりを示す。 ☆T2による個別指導	10分 数カード
百	十	一																															
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">100</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">100</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">100</td></tr> </table>	100	100	100	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">10</td></tr> </table>	10	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table>	1	1	1	1	1																						
100																																	
100																																	
100																																	
10																																	
1																																	
1																																	
1																																	
1																																	
1																																	
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">100</td></tr> </table>	100	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">10</td></tr> </table>	10	10	10	10	10	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td style="text-align: center;">1</td></tr> </table>	1	1	1	1	1																				
100																																	
10																																	
10																																	
10																																	
10																																	
10																																	
1																																	
1																																	
1																																	
1																																	
1																																	

深める	<p>(2)となり同士で発表し合う。</p> <p>(3)それぞれの解決方法について発表する。</p> <p>・友だちの考えを聞いてよいところを見つけよう。</p>	<p>・それぞれの考え方を比較検討する。</p> <p>・既習事項をいかに活用しているか着目させる。</p> <p>・筆算のしかたについて話し合わせる (※言語活動)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;"> 押さえてほしい用語・記号 〈用語〉一の位・十の位・等号 〈記号〉$-$・$=$ </div> <p>・考え方のよさを認め、筆算のしかたに結びつけていく。</p>	<p>考 3位数－3位数の計算のしかたを考えている。</p> <p>☆自分の考えと比べながら相手の考えのよさを見つける。</p> <p>☆数カード、百玉そろばんの活用</p>	15分
まとめる	<p>4 本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> ま： ひき算の筆算は、けた数が多くなっても、くらいをそろえて、一のくらいからじゅんに計算します。 </div> <p>5 適応問題を解決する。</p> <p>6 学習感想を書く。</p>	<p>・3位数－3位数の筆算も既習を使って答えを出すことができることを確認する。</p> <p>・ノートにまとめる。※</p> <p>・この時間で分かったことや感想を2～3行で書かせる。</p> <p>・本時のまとめを次時につなげる。</p>	<p>知 3位数－3位数の筆算のしかたを理解している。</p> <p>(ノートへの記載内容)</p> <p>☆3けたのひき算も、2けたの時と同じように計算ができることをしっかりと確認する。</p> <p>表 筆算形式による3位数の減法計算ができる。</p> <p>☆自力解決が難しい児童については、個別に指導する。</p>	10分

3 百玉そろばん活用の意図

- ・数感覚を身につけるために導入で使いました。
- ・授業の導入で、ウォーミングアップ的に活用しました。
- ・数を唱える活動
 - 1, 2, 3, …
 - 2, 4, 6,
 - 5, 10, 15, 20
 - 3飛び、4飛び、6飛び、7飛び
 - 足すと10 (1と 2と 3と 4と)
- ・百玉を使ったひき算

*本来、低学年の段階で十分に数の操作を体験させ、興味を喚起し、数感覚を身につけさせることが大切である。百玉そろばんは、数字と具体物の関連が一目瞭然であり、児童の実態に応じて中、高学年においても効果的である。使い方について、今後工夫していきたい。